

令和5年度からスピード感をもって有益な情報をお伝えするため月刊で発行します

## 会員サービス部門

## 令和6年辰野町商工会賀詞交歓会

1月19日（金）たつのパークホテルにて令和6年辰野町商工会賀詞交歓会を開催しました。来賓、会員総勢約70名の皆様にご参加いただき盛大な会となりました。

コロナ禍で3年もの間開催中止となっていた賀詞交歓会ですが、昨年だるまの目入れや鏡開きなどの賑やかなイベントを加えて復活することができました。さらに今年は制限も無く、名刺交換や会話を楽しみながら、新しい年の前向きなスタートを感じていただける場となりました。昨年に引き続き、青年部・女性部によるPRタイムを取り入れ、青年部で打った手打ち蕎麦や女性部と共同で作った野沢菜の漬物を当日のメニューの1つとして楽しんでいただくことも出来ました。

来年以降も会員交流の貴重な機会として引き続き開催を予定してまいります。



### 令和6年能登半島地震 義援金募金

1月1日に起きた令和6年能登半島地震に対し、全国の商工会組織で義援金募金を行うこととなりました。当会では、募金箱活動として賀詞交歓会受付で募金を行い参加者の皆様より13,754円を支援いただきました。ありがとうございました。また、別途ご案内にもありますとおり、振込による募金活動を2月中旬まで実施いたします。寄附金受領書を発行できます。ご協力をお願い致します。

集まった義援金は長野県商工会連合会より被災地の県商工会連合会へ送金します。

### 新入社員研修プログラム ～現在の意向確認状況（7社20名）～

令和6年度より多くの会員企業の課題解決に資する取り組みとして人材確保・活用支援事業を開始します。その一つとして行う新入社員研修プログラムについてですが、事前説明を一部会員事業所に行い、現在すでに7社20名の参加申込の意向をいただいております。

正式募集は2月1日よりスタートします。別紙案内チラシのとおり、初歩～フォローアップ～修了まで一貫した研修を予定しています。個別説明もいたしますのでお気軽に商工会へお問い合わせください。

### ・ 20年後、辰野町人口の約1/3が消失する？

厚生労働省機関国立社会保障・人口問題研究所の推計（「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」）によると、2045年には辰野町の人口が2020年比で約2/3になる（約1/3が消失する）とされています。具体的には、2020年に18,555人だった人口が2045年には12,567人まで減少する見込みとなっています。

これは衝撃的な話です。遠い先のことではなく、たったの20年後には6,000人近くの方が辰野町からいなくなってしまうというのです。これまで少子高齢化や人口減少と聞いてイメージしていたものと、この実態（に近いであろうもの）が大きく異なっていたという方が多いのではないのでしょうか？

### ・ はっきり言ってもう「現状維持」「復古」は無理

この推計の精度はともかく、今後かなりのスピードで辰野町の人口が減少することは確かでしょう。そして、辰野町の人口減少スピードは近隣町村と比べても深刻です。ですから、人口増加を前提に設計されてきた地域社会の維持や、まして復古などもはや不可能なのです。

“あの頃”は良かったとノスタルジーに浸るのは個人の自由ですが、執着するのはもうやめましょう。あらゆる環境の変化により二度と戻れませんので、ギャップに苦しむだけです。

### ・ 変化を恐れなければ新たな未来を創ることはできる

しかし、現状維持や復古が不可能だからといって辰野町の未来まで絶望的だということではありません。現実を直視し、受け入れ、必要な変化を恐れなければ新たな未来を創ることはできるはずです。変革の年と言われるこの辰年、過去のしがらみから抜け出し新たな発想でポジティブに活動していきましょう。

#### 辰野町による支援金のお知らせ

町内の製造業者、飲食サービス業者、辰野町料飲店組合員、道路貨物運送業者及びタクシー業者は辰野町の物価高騰対策支援金（一律10万円）を受けられる可能性があります。申請期間は令和6年2月1日～29日（消印有効）となっています。詳しくは同封のチラシをご覧ください。辰野町産業振興課（TEL:0266-41-1111）にお問い合わせください。